

報告事例番号①

多様な担い手の確保・育成

計画年度：令和3年～令和5年



吾妻農業事務所担い手・園芸課

1 課題設定の背景及び理由

- 管内西部地域は、大規模露地野菜や酪農経営が盛んで後継者が多い。一方、東部地域では、花きやコンニャク等の基幹品目はあるものの、高齢化等により担い手確保が急務。



- 既存の担い手受入体制（※）の取組を他地域に波及させ、新たな受入体制を整備するとともに、新規就農者の定着支援を図る。

（※）

- ・ 中之条町農業担い手受入協議会
（中之条町、主に花き）
- ・ あがつまスプレーナム産地協議会
（東吾妻町、スプレーギク）

2 支援事項と解決手法

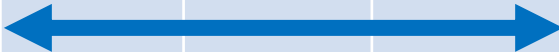
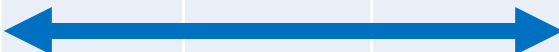
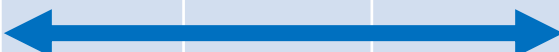
(1) 受入体制の整備と充実強化

主な活動	R3	R4	R5
受入農業者へのアンケート	↔		
新たな受入体制の整備支援		↔	
担い手担当者会議の開催	↔	↔	↔
受入体制の充実強化、受入農業者研修会	↔	↔	↔

- 研修受入の意向確認
- 関係機関の連携強化・情報共有

2 支援事項と解決手法

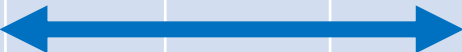
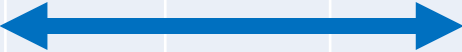
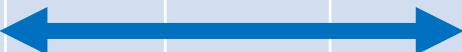
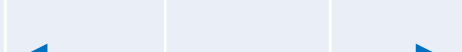
(2) 就農促進対策の推進

主な活動	R3	R4	R5
就農相談会の開催			
農業体験の受入			
就農計画作成支援			

- 農業体験で相談者の適性を確認
- 就農に向けた事業計画の作成支援

2 支援事項と解決手法

(3) 新規就農者の定着支援

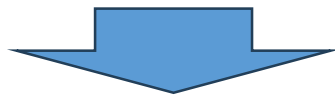
主な活動	R3	R4	R5
フォローアップ農業者の支援			
先輩農業者との交流会			
農業基礎講座・複式簿記講座の開催			
経営改善計画作成支援、経営分析実施			

- 段階に応じた個別の技術・経営指導
- 仲間づくりや先輩との交流による地域への定着

3 到達目標（目標年次の姿）

年度	R2	R3	R4	R5
目標	現状	目標	目標	目標
受入体制整備数（体制）	2	2	2	3
農業研修生（人）	5	6	7	8
新規就農者数 （45歳以下）（人）	10	16	16	16
認定新規就農者数（人）	13	16	18	20

（注）新規就農者数は単年度の値、他の目標は累計値



新規就農者の確保と早期の経営安定化！

4 活動経過及び結果

(1) 受入体制の整備と充実強化

①研修受入農家のアンケート調査

【活動経過】

- ・研修生の受入が可能な農家を把握するためのアンケート調査を実施（R3年度）

目的：研修受入可能な農家の把握

対象：5町村、95名（農業経営士、農村生活アドバイザー、認定農業者）

内容：受入可能な作目、期間、時期、人数

【活動結果】

- ・**27名の農業者が研修の受入可能と回答**

（中之条町8名、高山村1名、東吾妻町10名）

4 活動経過及び結果

(1) 受入体制の整備と充実強化

②新たな受入体制構築支援

【活動経過】

- ・受入体制整備に関する検討会や先進地域の取組視察等について提案

R3年度 検討会 3 回（高山村）

R4年度 検討会 6 回（東吾妻町）、視察 2 回（東吾妻町）

R5年度 検討会 6 回（東吾妻町）

【活動結果】

R4年度 高山村地域おこし協力隊
（就農型）の受入開始

R5年度 **東吾妻町農業担い手受入
協議会の設立**



高山村地域おこし協力隊

4 活動経過及び結果

(1) 受入体制の整備と充実強化

③担い手担当者会議の開催

④受入体制の充実強化、受入農業者等研修会

【活動経過】

- ・ 担当者の理解促進、情報共有を図るため会議を開催
- ・ 研修受入農家や研修生の事例（花き）を管内で共有

R3年度 担当者会議 1回

R4～5年度 担当者会議 1回、研修会 1回

【活動結果】

- ・ 就農相談会の効果的な出展方法、受入農家の負担、移住者の悩み等の課題への気づきにつながった。



受入農業者等研修会 9

4 活動経過及び結果

(2) 就農促進対策の推進

- ①就農相談、就農相談会の開催
- ②農業体験受入

【活動経過】

- ・町村と連携して就農相談に対応、就農相談会への出展支援（情報提供、補助事業活用支援）

R3年度 就農相談16回、相談会出展2回、農業体験2回

R4年度 就農相談21回、相談会出展1回、農業体験2回

R5年度 就農相談 7回、相談会出展1回

【活動結果】

- ・研修生1名（R3～5年度）（花き・中之条町）



4 活動経過及び結果

(2) 就農促進対策の推進

③青年等就農計画（営農計画）作成支援

【活動経過】

- ・ 営農計画、借入計画等の作成について指導・助言

R3年度 計画作成支援 3回

R4年度 計画作成支援 10回

R5年度 計画作成支援 7回



認定新規就農者（中之条町）

【活動結果】

- ・ 就農や経営に対する当事者意識が向上。

R3年度 認定新規就農者の認定 1名（中之条町・花き）

R4年度 同 2名（同）

R5年度 同 1名（同）

4 活動経過及び結果

(3) 新規就農者の定着支援

① フォローアップ対象農業者の支援

【活動経過】 (R3～5年度)

- ・ 就農後概ね 5 年以内の新規就農者を重点的に個別指導

フォローアップ対象農業者（19名）の選定

サポート巡回指導

所内検討会の開催（年 2 回）



関係機関によるサポート巡回指導

4 活動経過及び結果

(3) 新規就農者の定着支援

- ②農業基礎研修会、農業簿記基礎講座
- ③先輩農業者との交流会
- ④経営改善計画作成支援、経営分析

【活動経過】

- ・就農初期の技術習得や定着に向けた研修・交流会の実施

< 内容 >

研修会：複式簿記の基礎、農薬適正使用等

交流会：管内外の先輩農業者の視察

R3年度 交流会1回、研修会等7回、

R4年度 交流会1回、研修会等9回、計画作成支援等9回

R5年度 交流会1回、研修会等9回、経営分析2回

4 活動経過及び結果

(3) 新規就農者の定着支援

【活動結果】

- ・新規就農者が関係機関に相談しやすい体制や関係性が構築できた。
- ・栽培・経営に関する知識や技術の習得につながった。
- ・新規就農者同士の交流が図れた。
- ・先輩農家の経営から学び、自身の経営への意識が向上。



農業基礎研修会



交流会

5 到達目標に対する取組実績

年度	R2	R3		R4		R5	
目標	現状	目標	実績	目標	実績	目標	実績
受入体制整備数（体制）	2	2	2	2	2	3	3
農業研修生（人）	5	6	5	7	6	8	6
新規就農者数（人）	10	16	16	16	13	16	10
認定新規就農者数（人）	13	16	17	18	19	20	20

（注）新規就農者数は単年度の値、他の目標は累計値

6 残された課題と今後の対応

(1) 農業研修生及び新規就農者の確保

→担い手受入協議会の就農相談会への出展支援と効果的な出展方法等に関する情報提供

(2) 東吾妻町農業担い手受入協議会の活動支援

→①就農相談対応に係る模擬演習の実施
②推奨品目の選定支援
③新規就農者向けパンフレット等の作成支援

(3) 新規就農者の栽培技術・所得の向上

→①フォローアップ対象農業者の巡回指導の強化
②簿記講座の開催、経営分析指導